

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270201874		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホーム城西		
所在地 (電話番号)	〒036-8279 青森県弘前市茜町二丁目1-18 (電話) 0172-31-4533		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月17日	評価確定日	平成21年10月25日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 8人, 非常勤 9人, 常勤換算	13.8人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての 2階 ~ 3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 冬期12,600 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 8月 20日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 80 歳	最低	59 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院、久米田歯科
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所は住宅地にあり、近所の方や小学生との交流の機会が多い。慰問やボランティアの受け入れも積極的に行われており、地域にとけ込んでいる。職員は入居者と一緒にご過ごされ、入居者それぞれのペースで生活できるよう支援されている。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回同様に基本的な部分には取り組まれており、今後ともいっそう利用者本位のサービスが提供し続けられるように期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価に取り組まれている。また、改善項目にも取り組むことにより、職員の意識を高めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>町内会や行政からも意見をもらいながら、活発に活動し運営に良い効果が見られている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見があれば、運営会議やミーティングで話し合い、改善に向けてその都度対応されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>法人の応援を得ながら、事業所主催の夏祭りを開催し、町内会や保育園・小学校など地域の方にも参加していただいている。慰問やボランティアの受け入れも積極的に行い、地域との交流が図られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に職員全員で地域との関係や利用者の尊厳を保つ理念を作り上げ、いつでも目につく所に掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員に理念の浸透を図れるようにミーティングを通じて確認され、日常の中でも意識しながら介護に携わっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	法人の応援を得ながら夏祭りを開催し、町内会や保育園、小学校など地域の方にも参加していただいている。小学校の慰問があったり、運動会や発表会の見学へ行っている他、小学生や中学生の体験学習やボランティアの受け入れも行っている。また、町内会の廃品回収等にも参加するなど、地域との交流は活発であるため、近隣住民から気軽に声をかけてもらえる関係となっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義について理解しており、職員全員で自己評価に取り組んでいる。また、改善項目に取り組むことにより、職員の意識を高めている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者・家族・包括支援センター・町会長・民生委員・協力委員・市介護保険課参加のもと、2ヶ月に1回開催している。活発な意見交換がなされ、事業運営に生かされている。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問や問題点があった場合は、介護保険課に出向いたり、連絡を取り確認、検討され課題解決に取り組まれている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は対象となる利用者はいないが、勉強会や研修会にも参加されている。事業所内にパンフレットを掲示している。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成しており、意識しながら日々のケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に十分な説明をし、意向の確認と理解を得て契約を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>お便りを毎月発行している。健康面や金銭管理、職員の異動については随時家族に報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に声をかけ、意見を聞く機会を設けている他、運営推進会議でも意見が出されている。また、玄関には意見箱を設置している。出された意見に対しては随時検討し、明確にしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での異動は、行事等のお手伝いで交流があるため、精神的な負担にならないようになっている。異動、離職の際は、引き継ぎを徹底して行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修は段階に応じて行われ、法人全体の研修や事業所内の研修、月1回の同法人グループホームでの研修、法人業務別研修会が実施されている。		事業所や法人全体でも内部研修には積極的に取り組まれているので、外部研修への参加取り組みにも期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外のグループホームとの交流を図り、情報交換をしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人に合った役割がスムーズにできる環境作りや、他利用者との関係作りに配慮しながら、安心してサービスを利用できるように支援されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で利用者個々に合った役割を持っていただき、利用者の意見が尊重されるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の意向を確認できるように、日々の行動や言動などから把握に努め、支援している。また、意向の把握が困難な時は家族等から意見を聞き、話し合いをされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月担当者会議を開催し、本人・家族・担当医等から意見や意向を伺い、サービスに取り組まれている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月評価を行い、変化がある場合はその都度見直し、家族の同意を得て行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>併設のデイサービスやヘルパーからの情報も活用し馴染みの生活ができるように支援している。家族が宿泊できる体制も整えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に添った医療が受けられるように支援し、家族が付き添えない時は受診介助を行い、受診後は家族に報告している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と本人と重度化した場合の話し合いを持っている。同法人施設への入所を勧めているが、家族の協力が得られればホームで対応できる体制は整えている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	書類の保管場所は施錠し、面会簿も個別にし個人情報の扱いに十分配慮されている。広報の作成は同意を得ながら作成している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れは決まっているが、その時々本人に合わせて行動ができるように支援され、行事等への参加や外出も意向を取り入れている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>本人の能力に応じて、準備や片付けで役割を持っている。職員も利用者と一緒に食事を楽しんでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本は午前中の中の入浴だが、温泉を活用いつでも入浴ができるように支援されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴や現在の能力を考慮し、カラオケ・野菜作り・散歩・買い物等、職員と一緒にいき、生活意欲を引き出せるように支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>家族の協力も得ながら、散歩・買い物・畑作り・理美容・ドライブ・外食等外出の支援をされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成しており、勉強会も行っている。日常のケアの中で身体拘束がなかったか振り返りが行われている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出口にセンサーを設置し、普段は施錠していない。外出される場合も危険のないように見守り支援がされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを準備し、年2回日中と夜間を想定した防災訓練を行い、町会長・民生委員・協力委員の協力も得ている。洪水ハザードマップを準備し、避難方法についても行政と話し合われている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量を確認し、嗜好や状況に応じて代替えもしながら提供されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防・対処法に関するマニュアルを作成しており、申し送りや会議を通じて感染予防の実行を徹底し、手すり等の消毒や手洗いに取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールはテーブルの他に掘り炬燵風のテーブルもあり、窓からは岩木山も眺められ、落ち着きとゆとりのある空間が確保されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅から持ち込まれた馴染みの家具や写真があり、本人なりの生活空間で生活ができるように支援されている。</p>		

 は、重点項目。